



公益財団法人 韓国教育財団

THE KOREA EDUCATIONAL FOUNDATION

〒108-0073

東京都港区三田2丁目10-6 レオマビル 9階

TEL: 03-5419-9171

FAX: 03-5419-9172

<https://www.kref.or.jp>



未来人材の育成のための寄附は
こちらから



さらなる100年に向けて
飛翔



Since 1963

公益財団法人 韓国教育財団

THE KOREA EDUCATIONAL FOUNDATION



目次

00.	財団について	
	財団の歩み	p4
	理念・経営構造	p6
01.	奨学金事業	
	一般奨学金	p10
	碧峯奨学金	p12
02.	教育支援事業	
	TOPIK 韓国語能力試験	p16
	韓国語スピーチ大会	p18
	K-POP DANCE 大会	p18
	韓国留学フェア	p19
03.	研究振興事業	
	在日韓国人教育研究大会	p22
	韓国研究者ネットワーク	p22
04.	ご寄附	
	ご寄附のお願いとご案内	p24



財団の始まり

韓国教育財団は、故郷を離れて言葉はもちろん風俗や習慣も知らない日本という異国の地に渡ってきた「在日一世」の世代が、次代を担う子供たちに最高の教育を授けたいという思いから設立されました。1963年に設立した韓国教育財団の前身となる「在日韓国人教育後援会」の始まりは、

在日同胞子弟に対する熱い思いが形となった瞬間でした。その後、韓国政府からの財政と在日同胞の寄附が加わり、1973年に韓国教育財団は財団法人として日本政府から認可を受け、今に至ります。

新しい時代に向けて

これまでの60年間、韓国教育財団は在日同胞社会、韓国政府が資金、知恵、人員を集めた結果、多くの学生に対する支援だけでなく、様々な分野において事業を拡大させてきました。これからは財団100年目を見据え、学生への支援はもちろん、韓国と日本の間での教育・文化交流、

学術研究の推進に尽力し、さらなる発展と成長を目指して参ります。また、韓日両政府及び在日同胞社会の協力のもと、未来を展望し次世代に向けた新たな挑戦を積極的に進めていく所存です。

世界に羽ばたく若者の育成を 使命として

次世代と共に新しい歴史を創り出す

人材と組織など財団の発展を先導するガバナンス及び安定的な財政運営システムを構築します。

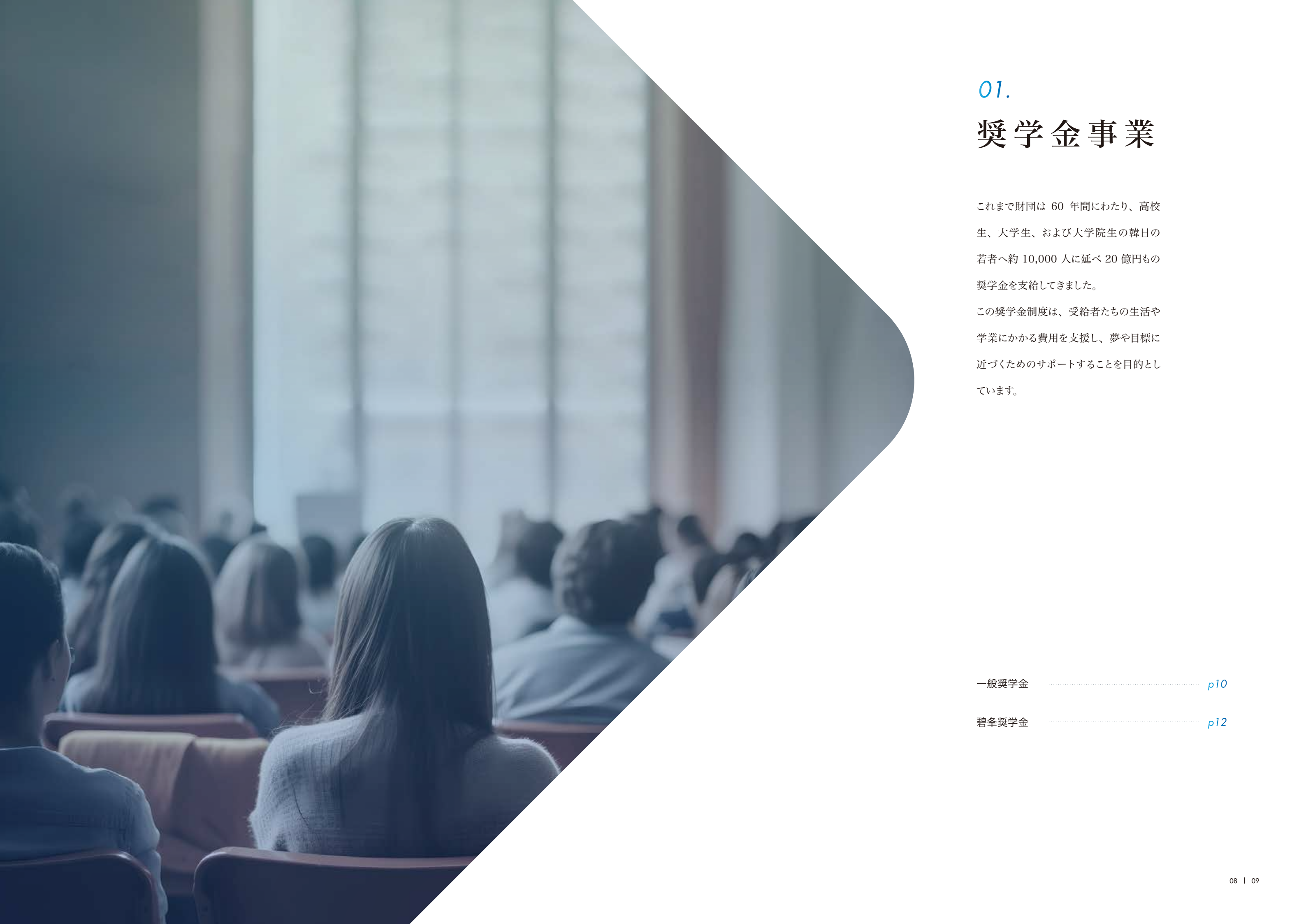
また、奨学金事業、教育支援事業、研究振興事業を通じて、世界に貢献するグローバル優秀人材を育成します。



経営構造



韓国政府、日本政府、在日同胞社会の協力に基づき組織構成で運営されています。



01.

奨学金事業

これまで財団は 60 年間にわたり、高校生、大学生、および大学院生の韓日の若者へ約 10,000 人に延べ 20 億円もの奨学金を支給してきました。

この奨学金制度は、受給者たちの生活や学業にかかる費用を支援し、夢や目標に近づくためのサポートすることを目的としています。

一般奨学金 [p10](#)

碧峯奨学金 [p12](#)

一般奨学金



グローバル人材育成のため、給付型奨学金を支給しています。

一般奨学金は、熱意ある学生への育成こそが最重要な課題と考え、韓国政府及び在日同胞社会の協力のもと、奨学金給付事業に尽力しております。若き有望な学生たちの夢への実現のため、60年にわたり様々な困難もありましたが、毎年欠かさことなく奨学金支給事業を続けて参りました。皆様の貴重な浄財は、若き学生への糧として活用いたします。

● 奨学生の声

東京大学4年生
経済学科
R.J.S



勉学に専念できるようサポートを受けられるというのは、学生にとってこの上ない喜びです。私は、公認会計士試験合格を目指し、勉強をしています。経営に携われる人材になりたいという信念があり、資格の取得はその通過点であると考えています。学びを社会に還元する視点を忘れず、今後も精進して参ります。

武蔵野大学
データサイエンス
L.Y.I

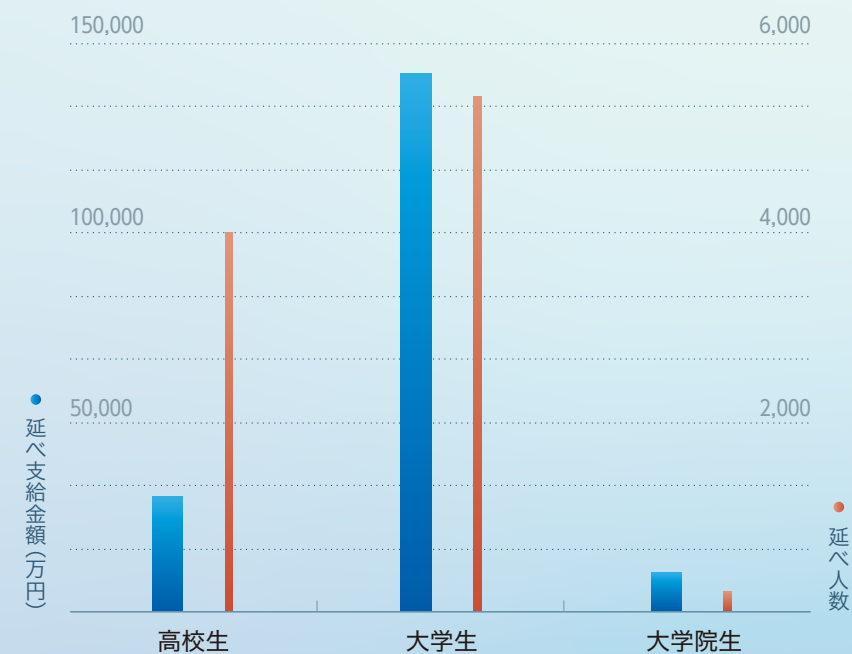


自分は奨学生として選んでいただいたことで、研究をはじめとする自分の勉学に集中し、深みを持たせることができました。これからも、韓国教育財団の奨学金を通して、沢山の在日同胞が学びに集中し、いずれそれを社会に還元できると良いと思います。

● 奨学金支援事業の仕組み



● 支給実績



累計

支給人数: 10,000名以上 / 支給総額: 19億円

● 申込から支給までのプロセス



2016年 奨学金伝達式 千葉



2019年 奨学金伝達式 京都



2022年 奨学金伝達式 神戸

対象

1. 韓国籍で、日本の永住権を保持し、日本国内の高校、大学、大学院に在学する30歳未満の者
2. 日本国籍者（帰化同胞を含む）で韓国語を専攻し、韓国語能力試験3級以上の合格者
3. 上記1、2のいずれかに該当し、成績優良でありながら学費の支弁が困難な者

奨学金

高校生：年間120,000円

大学生：年間500,000円

大学院生：年間1,000,000円



奨学生の書いた作文集

返済の義務はありません

給付型奨学金のため、返済は不要です。

碧峯奨学金（海外留学助成制度）



民族と祖国の栄光と尊厳を双肩に担い 世界で活躍できる人材の育成

碧峯奨学事業は、創設者が抱いた夢と志を共有する後輩たちに希望を与えたいという思いから設立されました。韓国人としての誇りや民族の繁栄のために不撓不屈の精神を発揮し、艱難辛苦に満ちた自己研鑽の場に励む若き志士たちへ支援しています。

海外のトップランクの大学院で専門知識を養い、韓日の枠を超えた世界を舞台で活躍できるリーダーや起業家を育成することを目指しております。学びこそが、人生を切り開く力だと信じております。
(※『碧峯』は寄附者である徐東潮理事長の号)

◎ 奨学生の声

UCLA, Anderson School of Management 卒業
K.S.C



2003年、母がみつけた記事を手帳に入れ受験に励み、2005年合格後に申請。甚大なるご支援の元、2007年に米国トップMBA卒業の夢を叶えました。卒業後は投資銀行、経営コンサル、総合商社を経て独立。世界トップMBA合格コーチとして、グローバルリーダーを育成しております。

Boston University, School of Law 卒業
K.M.W



高校から米国留学した私は、そのまま憧れのロースクールに進学しようとしたのですが、学費が出せずやむなく日本に一旦戻り、仕事をしました。いざ再渡米をする際、足りなかった資金を財団からの奨学金が補ってくれました。財団のお陰で今の充実した私の人生があるのであり、私は生涯それを忘れません。現在は環境をテーマに、企業経営と投資活動をしています。

◎ 支給実績（2005年～現在）

大学院名	課程	人数
Boston University Graduate School	Law-school	1
University of California, Los Angeles	MBA	1
University of California, San Francisco	Faculty of Dentistry	1
Chicago University Graduate School	MBA	1
Chicago University Graduate School	Law-school	1
Harvard University Graduate School	Ministry of Education	1
Hongkong University Graduate School	Ministry of Education	1
IE Business School, Spain	Ministry of Education	1
Johns Hopkins Graduate School	Public Health	1
Louisiana State University Graduate School	Landscape	1
Michigan University Graduate School	Informatics	1
New York University Graduate School	MBA (Real Estate)	1
New York University Graduate School	Law-school	2
NorthWestern University Kellogg School of Management	MBA	2
Ohio State University Graduate School	Fine Arts	1
Pennsylvania University Graduate School	MBA	1
Southern California University Graduate School	MBA	2

累計

支給人数：17校・20名 / 支給総額：1億3千万円

対象

1. 世界 20 位以内の MBA 大学院課程に合格、または在学中の者 *
2. 日本での永住権を持つ韓国籍で、応募時点で満 40 歳未満の者
3. 家庭事情が学資金補助を必要とすると認められる者
4. 他の奨学金（返済義務なし）や助成金を受けていない者

* 2018 年度より本規程へ変更

受付

随時募集

奨学金

年間最大 1,200 万円

選考方法

第 1 次：書類審査

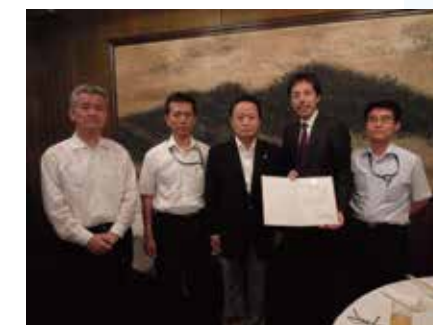
第 2 次：審査委員による面接

第 3 次：理事会にて選考

《詳細は財団ホームページにて》



2008 年 碧峯奨学金伝達式



2011 年 碧峯奨学金伝達式



2013 年 碧峯奨学生の集い

返済の義務はありません

給付型奨学金のため、返済は不要です。

University of Southern California, MBA Programs 卒業
K.C



私が入学した 2020 年度の米国はコロナ真っ只中で大変厳しい環境でしたが、同じ MBA コースの在日の先輩に薦められ碧峯奨学生に申請することになり、甚大なるご支援の元、米国トップ MBA を卒業するという夢を叶えることができました。卒業後は米国 IT 企業日本支社で MBA 時代の学びを活かしながら日々業務に取り組んでおります。



02.

教育支援事業

教育を基盤とする人との連携により、韓日文化交流を促進し、さまざまな世代の方々に有益な体験の場を提供することを目指しています。

日本における韓国語能力試験の実施、韓国語スピーチ大会、K-POP DANCE大会、そして韓国留学フェアをサポートしています。

TOPIK 韓国語能力試験	p16
韓国語スピーチ大会	p18
K-POP DANCE 大会	p18
韓国留学フェア	p19



マークシート形式 / 聞き取り・読解・筆記評価

韓国政府が公式認定する唯一の韓国語能力試験

韓国政府が認定する唯一の韓国語能力試験を日本国内で実施・運営しており、1997 年の初年度から 2023 年まで延べ 40 万人以上の受験がありました。この試験を通じて、韓国語学習者に対し、効果的な学習方法を提供するとともに、韓国語の普及や留学・就職などへの支援を行っています。

世界では 97 ヶ国での韓国語学習者が受験しており、試験結果は大学の単位認定、奨学金支給、留学や就職など幅広く活用されています。特に日本においては自身の韓国語の実力を図るため学生からご年配の方々が受験しており、なかには複数回受験されるなど、海外の受験者とは少し違う目的でチャレンジされているのも特徴です。

◎ 受験者の声

M.H
26 歳



韓国留学中に周りの友人のほとんどが国籍関係なく、TOPIK を受験していて影響されました。通っている語学堂でも TOPIK 講座が無料で開かれるほど、韓国語を学んでいる多くの方が受験しているのだと気づかされました。そして受験をすることによって自分がどのくらいのレベルまで韓国語を理解できるようになったのかこの部分がまだ弱いか知ることができたので受験して良かったと思いました。

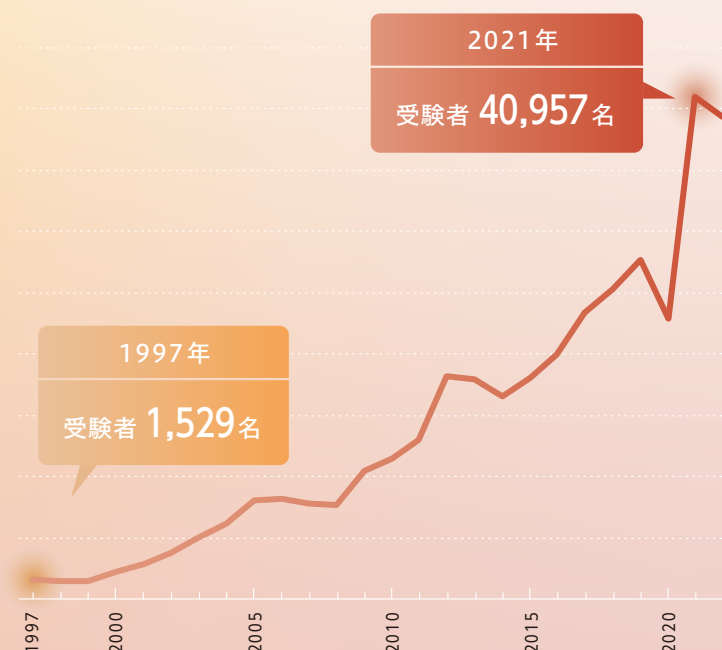
篠宮
23 歳



最初は独学で勉強していたので、自分の実力がどの程度なのかを評価してもらう機会がなく、TOPIK を受験しました。自分の韓国語能力が級として認められ、更なる実力向上に対するモチベーションになりました！

◎ TOPIK 受験者数（日本）

初年度から現在の約 25 年間で、TOPIK の年間受験者数は約 26 倍の伸びを見せています。日本における韓国ドラマや K-POP などの韓流ブームを受けて、韓国語がより身近な韓日文化交流の基礎になっています。



◎ TOPIK フォーラム

TOPIK フォーラムは、日本における TOPIK の普及と底辺拡大を目指し、現地化戦略の一環として設計されています。このフォーラムでは、学習者、教育者、出版社、ユーチューブ、企業など、TOPIK に関わる需要者と供給者が集まり、必要な情報を気軽に共有できるような開放的な場を提供しています。



多田真太郎
75 歳



語学教室に行くのならやはり隣の国の言葉、と思って始めました。語学教室に年齢は関係ないし死ぬまで続けられます。70 過ぎると記憶力も落ちるが、学習始めたら視野も広がり韓国にも行きました。さて、教室の先生が TOPIK 受けたら。正直自信は無いが、落ちたら次を目指せば良いと割り切った。受験にはさまざま人が来るのを見て、やはり頑張らねばと改めて感じます。「頑張らねば」と言う気持ちにさせてくれることだけでも試験を受ける価値がある。6 級まで登り、教室の先生にご恩返しすべきなのですが、さていつか。いや、「いつかは」です。

開催時期

4 月、7 月、10 月（年 3 回）

受験料

TOPIK I (初級) : 5,000 円

TOPIK II (中級+上級) : 7,000 円

結果の活用例

- ・韓国への留学
- ・通訳案内士韓国語試験免除
- ・大学の単位認定
- ・奨学生選考基準
- ・韓国関連企業へ就職など

試験会場

全国 38 都道府県 55 箇所で開催しています

詳細は韓国教育財団ホームページをご覧ください



韓国語 スピーチ 大会

受け継がれる美しい響き、
競い合う表現力

韓国語学習者が習得した韓国語を用いて、表現力と発音の美しさを競い合う韓国語スピーチ大会を支援しています。

この大会は 1995 年から開催されており、日本人や在日韓国人など、様々なバックグラウンドを持つ韓国語学習者が集まり、競い合いながら様々な学習法や練習法などの情報交換を通し、互いに高めあう場を提供しています。



K-POP DANCE 大会

K-POP は今や単なる流行を越えて、高校、専門学校、大学の正規教科や部活動など、教育課程の一環として制度化されています。この流れに合わせて、K-POP カバーダンスと呼ばれる大会やフェスティバルが幅広く開催されており、その支援をしています。

● 参加者の声

秋山
南稜高等学校



高校の期末試験と重なる中でやっと申請できた予選大会に、思いがけず決勝進出が確定しました。私の好きな K-POP に合わせて友達と毎日練習できたことはとても幸せなことです。ダンス大会はお祭りのようで、私のように韓国と K-POP を愛する友達がこんなにたくさんいるんだと感激しました。この大会は私の高校時代の本当に良い思い出として残るでしょう。

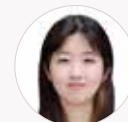


韓国留学 フェア

韓国留学フェアは、毎年韓国の 60 大学が参加しています。この博覧会は東京、京都、福岡、名古屋などで開催され、近年ではオンラインとオフラインの両方で同時に開催されています。これにより、多くの学生や教育機関など関心を持つ人々に参加の機会を提供しており、その支援をしています。

● 参加者の声

松本
23 歳



2022 年 5 月の韓国留学博覧会に参加し、韓国の様々な大学の情報を得ることができた他、先生や関係者の方とお話でき、韓国留学の情報収集において最も有意義なイベントだったと思います。現在は公州大学の大学院生として留学しています。初めての海外生活で大変なこともたくさんありましたが、友達や教授に助けをもらいながら充実した生活を送っています。





03.

研究振興事業

在日韓国教育機関の伝統を継承し、韓日両国における相互理解を深めるための基盤を図る事業です。

韓国学校、韓国教育院の教職員だけではなく、日本の教育機関にて韓国学を研究する研究者及び研究の場を拡めるためのプロジェクトを支援しています。

在日韓国人教育研究大会 p22

韓国研究者ネットワーク p22

在日韓国人 教育研究 大会

在日韓国人教育に携わる在日韓国学校、韓国教育院、ハングル学校、民族学校などの教員たちが一同に集まり、毎年開催する本大会は 60 年の歴史を刻むことができました。本大会は、現場での教育成果を共有することを目的としています。引き続き在日韓国人教育と韓日交流の動力になるよう支援していきます。



韓国研究者 ネットワーク

日本国内における韓国研究者ネットワークを構築し、韓国と日本の両国の研究者の学術交流を支援しています。これからも研究者の意見に耳を傾けつつ、学術フォーラムやシンポジウムなど様々なプログラムを運営します。



ご寄附のお願いとご案内

● 公益財団法人へのご寄付は『寄附金控除』または『税額控除』の適用となります。

● 税の優遇措置を受けるため確定申告に必要な書類を送付します。

● 返礼として感謝状または感謝杯を贈呈いたします。

感謝状・感謝杯贈呈の他、ご希望に基づき支援者様としてホームページへのお名前掲載等もさせていただくなどのお返しを用意しています。詳細はホームページをご参照ください。

EPISODE.1 大阪在住、タクシー運転手、50 代男性（在日韓国人）

タクシードライバーを生業とし、たまにお客さんからチップをもらう。『在日同胞青少年の教育に少しでも役立ちたい』というかねてからの想いより、寄附をされたとのこと。以来、毎年 12 月に同額の寄附が振り込まれ、それが 18 年続きました。ひとこと。「今日はいくらチップが集まるかな?と思えば、仕事もまた楽しいものです。」

EPISODE.2 横浜在住、職業不明、40 代男性（日本人）

とある日、駐日韓国大使館へ電話が一本。韓国人に役立てるよう寄附をしたいとのことで、大使館側が財団を紹介したところ男性がご訪問。本人は、体調がすぐれないため私（息子）に託したとのことで、寄附金 100 万円をご持参。過去に韓国へ色々迷惑をかけてしまった。その償いとして是非とも韓国人の学生へ役立てて欲しいとのことでした。

EPISODE.3 東京在住、テレビ局勤務、30 代女性（在日韓国人）

実は、当財団の奨学生。奨学金のおかげで無事大学を卒業することができ、就職も決まり数年勤務している。自身のみならず妹も、財団からの奨学金を受けている。お礼の意味も込め、財団へ貢献したいとのことで 3 年間寄附をされました。

EPISODE.4 青森在住、医療従事者、60 代男性（在日韓国人）

父親を早くから亡くし経済環境が苦しかったため、高校は住み込みのバイトをして学費を工面。血のにじむ努力により大学まで卒業したが、在日ということで職に就くことができず、医者になることを決意。苦しい生活のなか、半年に 1 度民団から支給された奨学金と食パンが何よりの楽しみだった。今の若い学生にはこんな思いをさせたくない。『お金が無く、頼れる人もいない恐怖は誰よりも身に染みて知っている』

お手続き

1. 寄付金口座へ送金ください。
2. choi2006@kref.or.jp へ送金日、金額、ご氏名、ご住所（郵便物の発送先）、領収書のご名義とご住所をお知らせください（領収書は確定申告の際に必要なとなります）。
3. 入金を確認されましたら、当財団から確定申告に必要な書類をお届けいたします。

お振込みでの寄附

お振込みでの寄附をいただける場合は、以下の口座へお振込みください。

寄付金口座

りそな銀行 麻布支店 当座 0509769
公益財団法人韓国教育財団
(ザイ) カンコクキョウイクザイダン

クレジットカードでの寄附

クレジットカードでご送金いただける場合は、以下の QR コードよりホームページへアクセスいただき詳細をご確認ください。



お問い合わせ

Email choi2006@kref.or.jp

減税について

日本国政府から公益財団法人として許可された当財団へのご寄付は『寄附金控除』または『税額控除』の適用となります。詳しくは、当財団ホームページまたは国税庁のホームページをご参照ください。



〒108-0073
東京都港区三田2丁目10-6 レオマビル9階

TEL : 03-5419-9171
FAX : 03-5419-9172



韓国教育財団ホームページ
<https://www.kref.or.jp>



韓国教育財団ホームページ | ご寄附について
<https://www.kref.or.jp/contribution>

